

がんを克服するために、  
“疾患連続体”という視点を。



第85回日本癌学会  
学術総会 Olink  
展示ブース  
で配布

### がんの疾患連続体を生物学的にどう捉えるか。

疾患連続体とは、発症前からその後まで続く、相互に関連した一連のプロセスとして捉えるフレームワークで、複数の解析アプローチを組み合わせ、異なる生物学的情報を統合して疾患の変化を捉えることが重要です。

| 発症前                    | 早期検出 | 診断・層別化                  | 治療 | 治療中 | 治療後・再発 |
|------------------------|------|-------------------------|----|-----|--------|
| ゲノム／トランスクリプトーム         |      | 分子変化・制御情報               |    |     |        |
| シングルセル／Spatial Biology |      | 細胞状態・局在・細胞間相互作用         |    |     |        |
| 組織プロテオーム               |      | 局所の機能的タンパク質情報           |    |     |        |
| 循環プロテオーム               |      | 低侵襲な検体から、反復して得られる全身性の情報 |    |     |        |

### 各ステージで、どのような研究課題が問われ、プロテオームはどう貢献しているのか？

| 疾患ステージ         | 臨床上の問い                         | 代表的な研究                                        | Book<br>参照ページ |
|----------------|--------------------------------|-----------------------------------------------|---------------|
| 発症前<br>(リスク予測) | 誰が将来のがんリスクを有するか？               | Zhao et al., 2025                             | P6            |
| 診断・早期検出        | 何がんなのか、より早期に検出できるか？            | Alvez et al., 2023<br>Athanasίου et al., 2024 | P8–10         |
| 症状出現時<br>トライージ | 検査の必要性が高い対象をどう層別化するか？          | Wannberg et al., 2025                         | P11           |
| 治療前            | 誰に介入が必要か？どの治療が有効であるか？          | Moskov et al., 2025<br>Loriot et al., 2021    | P14–16        |
| 治療中            | 治療応答・抵抗性・有害事象に伴う生物学的変化をどう捉えるか？ | Liu et al., 2025<br>Diorio et al., 2024       | P18–20        |
| 治療後・再発         | 再発や長期転帰に関連するシグナルを予測できるか？       | Toney et al., 2025                            | P22           |
| 全ての疾患<br>ステージ  | 血液以外の適切な生体試料からも非侵襲的に評価できるか？    | Steiner et al., 2024                          | P24           |

この続きと詳細は日本語完全版の冊子(28P)で。

▶ 裏面をご覧ください

癌学会Olink展示  
情報はこちら



# 第85回日本癌学会学術総会

## Olink展示ブースで、プロテオーム研究をもっと身近に。

国立京都国際会館 ポスター会場（ニューホール #N-14）

### ① 癌学会 展示ミニセミナーに参加

#### がん研究とOlinkプロテオミクス

最新の研究事例を交え、循環プロテオーム研究の可能性をご紹介します。

#### Olink™ Insight LIVE DEMO

UK Biobankなどの公開データを活用し、タンパク質・疾患・パスウェイ・関連研究を探索。

開催スケジュール | 全7回

9/24 木

11:15–11:45

16:10–16:40

9/25 金

11:15–11:45

16:00–16:30

17:00–17:30

9/26 土

11:15–11:45

15:00–15:30



好きな時間帯を事前登録

### ② Cancer Application Bookを取得

#### 「がんの疾患連続体におけるタンパク質バイオマーカー」日本語完全版

詳細は裏面で

発症前から診断、治療、モニタリング、再発まで。循環プロテオームを活用した最新のがん研究事例を28ページで解説。

日本語完全版をOlink展示ブースで無料配布



### ③ ユーザーウェビナーで学ぶ

#### 「Olink Explore HTを用いた膀胱がんマーカー探索」

林 櫻松 先生

愛知医科大学 公衆衛生学講座 特任教授

2026年10月28日 (水) | 17:00–18:00 無料

Zoom (終了後はオンデマンド視聴可)



ウェビナー登録はこちら